

# 国際電気通信連合(ITU) 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)の 結果概要

---

総務省  
国際戦略局  
通信規格課

# ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

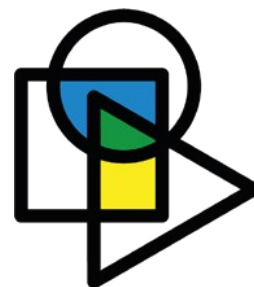
世界電気通信標準化総会(WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

- ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門(ITU-T)の総会であり、4年に1回開催。
- WTSA-20は、当初2020年11月17日～27日にハイデラバード(インド)で開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により2021年2月23日～3月5日へ延期。
- ITU理事会バーチャルコンサルテーション第2回において2022年3月1日～9日への再延期に合意。併せて、電気通信標準化諮問委員会(TSAG)を3回(2021年1月、10月、2022年1月)開催が合意。
- 2021年1月TSAGにおいて、期間が短縮されたことから、研究体制の変更は行わないこと、電気通信標準化諮問委員会(TSAG)で実施可能な内容(研究課題の更新、勧告の承認)はTSAGで実施することに合意。
- 2021年9月にインドがホストを取り下げ、ジュネーブでの開催に変更となった。

## WTSA-20における主な議題

従来と異なり**太字箇所のみ**議論された

1. 次会期における研究体制の決定  
→研究体制の変更は行わないことが合意。
2. **TSAG/研究委員会(SG)議長・副議長の任命**
3. 次会期の研究課題の承認  
→2021年1月TSAGで実施済。
4. **決議案の承認**
5. 勧告案の承認  
→TSAGで実施。



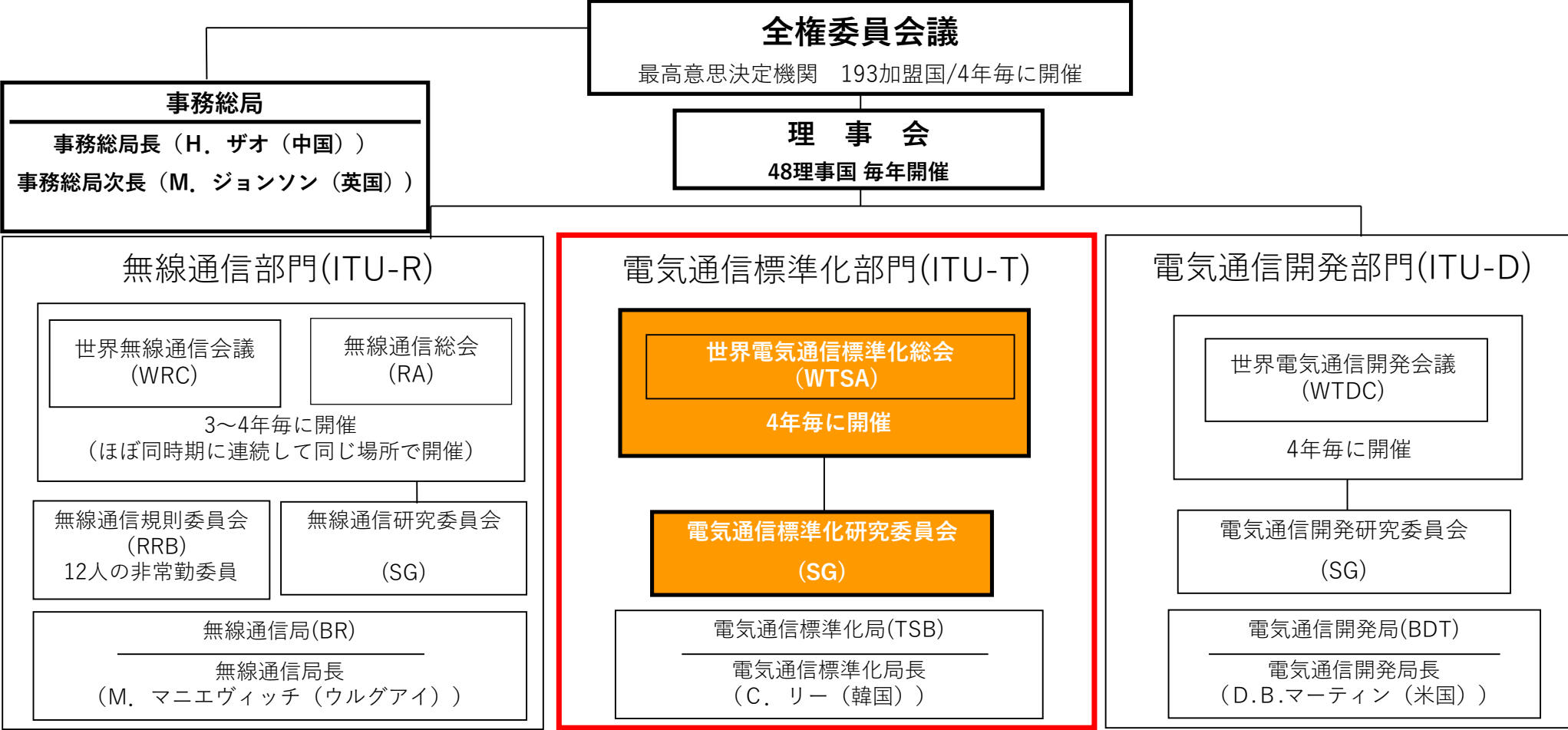
**ITU WTSA-20**  
GENEVA2022

*Setting the standard*

1-9 March 2022  
Geneva, Switzerland

# ITUの組織図

- 電気通信に関する国際連合の専門機関 (ITU : International Telecommunication Union)
- 主要任務は、①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、③途上国に対する電気通信の開発支援
- 本部：スイス・ジュネーブ 193の国・地域が加盟
- 日本は1959年以来、理事国(48カ国)に選出



# WTSA-20会合構成

## Plenary (全体会合)

議長：  
Mr. Bruce GRACIE  
(カナダ、エリクソン)



副議長：  
日本、ドイツ、UAE、  
ガーナ、メキシコ



前田参与

### Committee2(予算管理)

議長： Mr. Bahtiyar MAMMADOV (アゼルバイジャン)  
副議長： 日本、セネガル、カナダ、チュニジア

### Committee3(ITU-Tの作業方法)

議長： Mr. Steve TROWBRIDGE (米国)  
副議長： ウズベキスタン、ウガンダ、中国

#### Working Group 3A (手続規則・電子的作業方法等)

議長： Ms. Basma TAWFIK (エジプト)  
副議長： 韓国

#### Working Group 3B (連携強化等)

議長： Mr. Arnaud TADDEI (英国)  
副議長： ナイジェリア

### Committee4(ITU-Tの作業計画・組織)

議長： Mr. Philip RUSHTON (英国)  
副議長： スーダン、ブラジル、UAE

#### Working Group 4A (インターネット関連決議等)

議長： Mr. Hyoung Jun KIM (韓国)  
副議長： チュニジア

#### Working Group 4B (標準化格差是正等)

議長： Mr. João Alexandre Moncaio ZANON (ブラジル)  
副議長： コートジボアール

### Committee5(編集)

議長： Ms. Rim BELHAJ (チュニジア)  
副議長： クウェート、中国、米国、スペイン

# ロシアのウクライナ侵攻に伴うSG役職者等に関する議論

## ■初日のPlenary会合

- ウクライナ、EU27カ国、米加英豪日ガーナがロシアによるウクライナへの侵攻を非難する声明を読み上げ。
- ウクライナが、ロシアがUN憲章に違反したことを理由として、WTSA-20、TSAG及びSGそれぞれの役職者へロシア推薦の候補者が任命されることに反対し、EU27カ国、米加英豪が支持。ロシアは、役職者の選定基準に国籍条項はないとして、ウクライナの発言に反対し、ベラルーシが支持。

〔 会期中に複数のHoD会合及び個別国間で調整が行われたものの、最終日まで合意が得られなかった。 〕

## ■最終日のPlenary会合

- ITU-T事務局は、ロシア候補者を未合意として含めたTSAG/SG役職者のリストを提出。
- ウクライナ、EU27カ国、米加英豪日、スウェーデン、アイスランドが、ロシア候補者の削除を支持、ロシア、中国、ベラルーシが反対。
- 議長から、ロシア推薦の候補者を削除することで合意する旨の発言が行われたところで、ロシアが議論の継続を求める動議(Point of Order)を実施し、無記名投票を求めた。
- 投票の結果、有効投票数 100、支持(ロシア候補者の削除)53、反対 19、棄権28となり、ロシア候補者を削除したTSAG/SG役職者のリストに合意した。



ロシアからの動議の瞬間

# TSAG/研究委員会(SG)議長・副議長の任命

SG等	活動内容	議長		副議長(日本)	
TSAG	ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画	Mr. Abdurahman AL HASSAN (サウジアラビア)	新	永沼 美保(NEC)	新
SG2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理	Mr. Philip RUSHTON (英国)	再	—	—
SG3	料金及び会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題	Mr. Ahmed SAID (エジプト)	新	本堂 恵利子(KDDI)	新
SG5	電磁界(EMF)、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済	Mr. Dominique WÜRGES (フランス)	新	高谷 和宏(NTT)	再
SG9	音声映像コンテンツ伝送及び統合型広帯域ケーブル網	宮地 悟史 (KDDI)	再	—	—
SG11	信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策	Mr. Sh. Ritu Ranja MITTAR (インド)	新	—	—
SG12	性能、サービス品質及びユーザー体感品質	Ms. Tania VILLA TRAPALA (メキシコ)	新	山岸 和久(NTT)	新
SG13	将来網及び新興ネットワーク技術	谷川 和法 (NICT)	新	—	—
SG15	伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備	Mr. Glenn Wilson PARSONS (カナダ)	新	—	—
SG16	マルチメディア及び関連デジタル技術	Mr. Zhong LUO (中国)	再	山本 秀樹(OKI)	再
SG17	セキュリティ	Mr. Heung Youl YOUM (韓国)	再	三宅 優(KDDI)	再
SG20	IoT並びにスマートシティ及びコミュニティ	Mr. Hyoung Jun KIM (韓国)	新	山田 徹(NEC)	再

赤字は今回活動内容に変更があったもの  
新：新任、再：再任

# 決議案の議論の結果

審議時間が限られる中、決議案についてコンセンサスが得られない場合は、オリジナルの文章から変更しないことを原則とし、迅速に審議が進められ、下記の2件の新決議及び36件の決議改定に合意した。

※赤字は今回タイトルに変更があったもの及び新決議

決議	和訳タイトル
1	ITU-Tの手続き規則
2	ITU-TSGの責任及び担務
7	国際標準化機構(ISO)及び国際電気標準会議(IEC)との協調
18	ITU-R、ITU-T及びITU-D間の作業割当及び協力・調整の強化のための原則と手続き
20	国際電気通信番号、ネーミング、アドレス付与及び識別資源の割当と管理手順
22	WTSA間のTSAGの権限
29	国際電気通信ネットワークにおける代替通話手段
34	任意拠出金
40	ITU-T作業の規制的及び政策的側面
43	WTSAに向けた各地域での準備
44	発展途上国と先進国との間での標準化格差の是正
48	国際化(多言語)ドメイン名
50	サイバーセキュリティ
54	ITU-T SGの地域グループ
55	ITU-T活動におけるジェンダー平等の促進
58	発展途上国向けのCIRT機能整備の促進
60	識別/番号システムの進化とIPベースのシステム・ネットワークとの統合に向けた検討
61	国際電話番号資源の悪用及び誤用への対策/対抗
64	IPアドレスの割当及びIPv6への移行と普及の促進
65	発信番号の送付、発信回線特定と発信者情報特定
67	連合の公用言語のITU-Tでの平等な使用及び用語の標準化委員会(SCV)

決議	和訳タイトル
70	障がいや特別なニーズを持つ人々のための電気通信/ICTアクセシビリティ
72	電磁界への人体ばく露の測定及び評価に関する研究
73	ICT、環境、気候変動及び循環経済
74	ITU-T活動への発展途上国セクタメンバの参加促進
75	SDG2030アジェンダを考慮した世界情報社会サミット (WSIS) 成果の実施へのITU-Tの寄与
76	適合性及び相互接続性試験、発展途上国支援、将来的なITUマークプログラムの実現に関する研究
78	e-healthサービスへのアクセスを向上するためのICTアプリケーションと標準
79	電気通信/ICT機器から生じるe-wasteの扱いと管理における電気通信/ICTの役割及びその手法
84	電気通信/ICTサービス利用者の保護に関する研究
89	金融包摂ギャップを埋めるためのICT利用の促進
91	ITU-Tが公表する番号計画情報の電子的レポジトリへのアクセス強化
92	IMTの非無線分野に関するITU-T標準化活動の強化
95	サービス品質に関するベストプラクティス及び政策への意識を向上させるためのITU-Tのイニシアチブ
97	移動体通信端末の盗難対策
98	世界的発展のためのIoTとスマートシティ・コミュニティの標準化の強化
	<b>99 ITU-T SGの組織再編の検討【新決議】</b>
	<b>100 アフリカ共通の緊急電話番号【新決議】</b>

# 合意された新決議：2件

## 決議99：ITU-T SGの組織再編の検討

### 主な論点 (提案)

アラブ地域・アメリカ地域・ロシア地域よりWTSA-24でのSG再編に向けて、各SGの活動の分析を行うべく、提案された。分析にあたり外部コンサルタントの起用の是非の観点でアメリカ・ロシア地域の意見が対立しており、また既にTSAGにおいてSG再編に向けてのアクションプランが作成されていることから、その扱いについても議論された。

### 結果

TSAGが作成したアクションプランを実施するための決議として合意された。なお、本決議の元に作成される改革と見直しのアウトプットは、次のWTSAのためのガイダンスであり、その実施は義務ではないとされている。また外部コンサルタントに関する記述はなし。

## 決議100：アフリカ共通の緊急電話番号

### 主な論点 (提案)

アフリカ地域の加盟国ではITU-T E.161.1に準拠した緊急通信番号(112又は911)を利用していない傾向があることから、同勧告に基づく技術指導を求める提案。

### 結果

対象地域をアフリカと明確化した上で、新決議作成に合意。



# 議論の結果、作成・変更されなかった提案

## 2022年全権委員会議(PP-22)において議論することが推奨され、作成・変更されなかった提案

- ◆ **決議32「電子作業方法」、新決議案「対面とバーチャルの公平な利用」**  
オンライン会議の利活用やガイドライン作成が提案された(日本提案を含む)が、全セクターに関わるものとして、PP-22において議論することを推奨した。
- ◆ **新決議案「AI」**  
アラブ地域から提案されたが、研究対象のAI関連技術をITUのマンデート内とするための文言(例: AI related telecommunication/ICT)に合意出来ず、PP-22での議論を推奨した。
- ◆ **新決議案「パンデミックに対するICTの活用」**  
アジア、アラブ、アフリカから同様の内容で提案がされたが、他のセクターも関わる提案とされ、PP-22での議論を推奨した。

## 関連SGで議論されるべきとされ、作成されなかった提案

- ◆ **Open RANを含むオープンアクセスネットワーク（アラブ地域提案）→SG13**
- ◆ **MSISDN及びIMSI ※における16進数の利用（ロシア地域提案）→SG2**
- ◆ **SMART海底ケーブル（欧州地域提案）→SG15**

※MSISDN : Mobile Subscriber Integrated Services Digital Number (携帯電話の電話番号のこと。国番号から始まる最長15桁の番号。)

IMSI : International Mobile Subscriber Identifier (携帯電話の加入者に発行される、国際的な加入者識別番号。SIMカードに記録される。)

# 廃止された決議：4件

決議	Title	和訳タイトル	備考
35	Appointment and maximum term of office for chairmen and vice-chairmen of study groups of the Telecommunication Standardization Sector and of the Telecommunication Standardization Advisory Group	ITU-TのSGとTSAGの議長／副議長の任命と任期	同趣旨のPP決議208を引用
45	Effective coordination of standardization work across study groups in the ITU Telecommunication Standardization Sector and the role of the ITU Telecommunication Standardization Advisory Group	ITU-TのSGを跨がる標準化活動の効果的な調整とTSAGの役割	WTSA決議22に統合
59	Enhancing participation of telecommunication operators from developing countries	発展途上国のテレコムオペレータの参加促進	WTSA決議44及び74に統合
66	Technology Watch in the Telecommunication Standardization Bureau	TSBにおけるテクノロジーウォッチ機能の創設	当該レポート2017年を最後に発行されていないため、削除

# 決議に関する主な議論の概要①

## 決議50：サイバーセキュリティ

### 主な論点 (提案)

- ・サイバー犯罪や法的枠組みにおける国際協力（アフリカ地域）
- ・サイバー犯罪や法的枠組みにおける国際協力、個人情報、プライバシー保護の重要性を強調し、新興技術のセキュリティ関連の研究活動の推進（アラブ地域）
- ・個人情報保護の重要性を強調（ロシア地域）
- ・ITU-T SG17を中心とした合同調整会合の設立を提案（アジア地域）

### 結果

プライバシーやサイバー犯罪はITUのマンデート外であるという日米欧の意見を踏まえ、懸念のある記載はすべて削除された。  
合同調整会合の設置は合意されない一方、SG17の役割は明記された。

# 決議に関する主な議論の概要②

## 決議54：地域グループの設置及び支援

### 主な論点 (提案)

決議1の2.1.4, 2.3.2, 2.3.3, 5.2, 5.4及び9.2.1といった地域グループの権限や参加者についての項目について、決議54へ移動が検討された。また2019年9月のTSAGにおいて「当該地域に属さないメンバー国及びセクターメンバーは、オブザーバの立場で関連する地域会合に出席する権利を有する。」旨がITU法務部門から報告されており、本主旨の文面を決議54に追加するかどうかで活発な議論が行われた。

### 結果

決議1の2.3.2の移動先であるResolves 6において「他の研究委員会の地域グループの会合は、原則として、当該地域における研究委員会の加盟国、セクターメンバー、アカデミア及びアソシエイトの代表者及び代表者に限定する。」という書きぶりとなったが、加盟国及びセクターメンバーのそれぞれの地域外の地域会議への参加を制限していると解釈されるため適切ではないとして、以下21カ国が不支持である旨の声明が発信された。（アルファベット順）

オーストラリア、オーストリア、バハマ、ブルガリア、カナダ、チェコ共和国、フランス、ドイツ、日本、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、メキシコ、オランダ、ポルトガル、ルーマニア、スペイン、スイス、スウェーデン、英国、米国

# 決議に関する主な議論の概要③

## 決議96：電気通信/ICT装置の偽造対策のためのITU-Tの研究

### 主な論点 (提案)

PP決議188及びデジタル・オブジェクト・アーキテクチャに関する勧告 ITU T X.1255が引用されているが、特定の勧告を決議に記載すべきでないという議論がかねてより続けられており、今回も同項目の削除の是非が議論された。

### 結果

コンセンサスを得られず、変更なしとなった。  
また、以下22カ国が不支持である旨の声明が発信された。(アルファベット順)  
オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、日本、ラトビア、リトアニア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スペイン、スウェーデン、英国、米国

# 決議に関する主な議論の概要④

## 決議98：世界的発展のためのIoTとスマートシティ・コミュニティの標準化の強化

### 主な論点 (提案)

- 途上国支援（フォーラム開催、キャパビル）の実施（アフリカ地域）
- スマートシティKPI採用の促進とKPI監査員の育成（アラブ地域）
- セクターメンバーに対し、ベストプラクティス・ドキュメントを開発し、普及させることを勧奨（アジア地域）
- 途上国支援（フォーラム開催）の実施（欧州地域）
- 勧告の実装について途上国支援の実施（米州地域）

### 結果

U4SSC KPIを明確に引用し、その実装を促進及び奨励することをITU-T局長に指示する。  
途上国支援については、ITU-R/ITU-D局長との調整を明確化した上で提案を反映した。

全権委員会議 PP  
最高意思決定機関

(4年毎に開催)

電気通信標準化部門(ITU-T)

世界電気通信標準化総会 WTSA  
研究課題設定、勧告の承認

(4年毎に開催)

研究委員会：SG

SG2

サービス提供の運用側面及び電気通信管理

議長 Mr. RUSHTON (英)

サービス規定・定義、ナンバーリング、アドレッシング、ルーティング関連

SG3

料金会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題

議長 Mr. SAID (エジプト) 副議長 本堂 恵利子(KDDI)

計算料金制度改革、精算原則関連

SG5

電磁界、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済

議長 Mr. WÜRGES (仏) 副議長 高谷 和宏(NTT)

網及び装置保護、電磁環境の影響に対する防護、ICTと気候変動関連

SG9

音声映像コンテンツ伝送及び統合型広帯域ケーブル網

議長 宮地 悟史(KDDI)

統合型広帯域ケーブルネットワーク及び映像・音声伝送

SG11

信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策

議長 Mr. MITTAR (印)

IP網、NGN等の信号及びプロトコル並びにNGN等の試験仕様関連

SG12

性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE)

議長 Ms. VILLA TRAPALA (メキシコ) 副議長 山岸 和久(NTT)

全ての端末、ネットワーク及びサービスのQoS及びQoE関連

TSAG

電気通信標準化諮問委員会

議長 Mr. AL HASSAN (サウジ) 副議長 永沼 美保(NEC)

ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画

SG13

将来網及び新興ネットワーク技術

議長 谷川 和法(NICT)

移動及びNGNを含む将来網の要求条件、アーキテクチャ、評価、融合関連

SG15

伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備

議長 Mr. PARSONS(カナダ)

伝送網及びアクセス網基盤、システム、装置、光ファイバー及びケーブル関連

SG16

マルチメディア及び関連デジタル技術

議長 Mr. LUO(中) 副議長 山本 秀樹(OKI)

NGN等を含む既存・将来網のサービスのためのユビキタスアプリケーション及びマルチメディア関連

SG17

セキュリティ

議長 Mr. YOUM (韓) 副議長 三宅 優(KDDI)

サイバーセキュリティ、スパム対策及びID管理等

SG20

IoTとスマートシティ・コミュニティ

議長 Mr. KIM (韓) 副議長 山田 徹(NEC)

IoTとスマートシティ、スマートコミュニティを含むそのアプリケーション